

高川小だより

令和5年(2023年)3月13日

発行者: 校長 寺本 正行

高川小HPは
こちら➡



6年生を送る会

3月8日(水)、6年生を送る会が開催されました。前半(1, 2, 3年生)と後半(4, 5年生)に分けて行いました。それぞれの学年が、歌やダンス、クイズなどを披露し、お世話になったお礼や、中学校に行ってもがんばってほしい気持ちを贈りました。また、児童会から「児童会卒業証書」が授与され、6年生からは歌のお返しがありました。卒業生にとっていい思い出になったと思います。



児童会卒業証書

学校教育自己診断結果

2学期末に行った学校教育自己診断アンケートの結果をお知らせいたします。回収率は88%でした。
ご協力ありがとうございました。 アンケート集計結果は学校HPをご覧ください。

アンケート結果より

1 子どもは学校へ行くのが楽しいと言っている。 否定的回答(11%)

★「楽しくない」要因は、勉強が分からない、友だち関係の悩み、家庭での悩みなど、さまざまあると思います。学校では、さまざまな場面での子どもの様子や変化をできるだけ複数の眼で見えてサポートしていきたいと考えています。「分かる授業づくり」、「安心できる居場所となる学級づくり」を目指して更に取り組めます。

2 子どもは、授業がよく分かると言っている。 否定的回答（15%）

★高川小学校としては大きな課題としてとらえています。学校で一番長いのは授業の時間です。授業内容が「分かる」ことが自信につながります。また、「学んだことがいろんな場面で生きてくる」ことで自分自身のことをより深く考えることにつながりますし、人間関係づくりにも活かされると思います。学校は、子どもたちが「学ぶことで自分が豊かになっていく」ことを感じていけるよう、今後も授業改善や行事の工夫に努めていきます。学習内容の定着や取組みに、ご家庭にご協力をお願いすることもあると思います。よろしくお願いいたします。

★「7 一人ひとりの子どもをよく理解しようとしている」「8 いじめや暴力のない学級づくりにとりくんでいる」「11 子どもが間違った行動をしたときにきちんと指導をしている」などは、肯定的回答が高く、一定の評価を得ていると考えます。日頃の子どもとの接し方、いじめや暴力・トラブルに対する指導、目的を持った集団づくりの取組みなどを学校全体として意識して取り組んでいる成果だと考えます。

★一方で、教師の授業力や子どもとの関わり方などに対する不安のご意見や、学校や学級の様子をもっと知りたいというご意見もいただきました。私たちは子どもと接する時間が長い分、子どもたちに与える影響も大きいと考えます。私たち自身が人間として成長していく必要があります。子どもから学び、研修等を通じて自己研鑽を積み重ねていきます。また、学校や学級からの情報発信にも努めていきます。

育友会総会

3月3日に育友会決算総会が行われました。総会では、運営委員会みなさんに感謝状を贈り、最後にあいさつをさせていただきました。あいさつの内容は次のようなものです。

『今年度の育友会活動、お疲れさまでした。コロナ禍で育友会活動が縮小されましたが、その中で子どものためにできることを工夫して行っていただきました。「夜の学校なぞとき探検」は大いに盛り上がりまし
たし、「合同作業」では溝や雑草などをきれいにしていただきました。運動会の受付にもご協力いただき大
変助かりました。また、「HOTクリーン大作戦」や「新春ふれあいデー」などの地域行事にも協力してい
ただきました。こうやって振り返りますと、育友会は学校や地域にとってとても頼りになる存在だとい
うことがわかります。

運営委員会みなさまには、子どもたちが楽しんでいる姿を見て、やってよかったなと思っていただけて
いたらうれしいですし、今年1年の活動を通して、みなさん自身の人間関係が広がってくれたのではない
かと思います。子どもは地域で育ちます。保護者同士のつながりが広がっていくことは、地域で子どもを守り
育てることにつながります。そういう意味でも、育友会活動は保護者同士が出会い、つながりが広がって
いく場でもあると思います。今後も、子どもが喜ぶ姿を楽しめる育友会でいてほしいと思います。今年1年本
当にありがとうございました。』